

令和7年度
第1回

もりおか

郷土芸能フェスティバル

令和7年

9月28日(日)

キャラホール

(盛岡市都南文化会館)

盛岡市永井24-10-1

開場 9:30

開演 10:00 (終了予定16:00
途中昼休憩あり)

※開会式(10:00~10:30頃)の中で、盛岡市の民俗芸能の
継承と維持発展に貢献した方を顕彰し、表彰を行います。

都南太鼓保存会

太鼓

※出演団体及び
出演団体数は
変更になる場
合があります。

太田さんさ踊り保存会

東中野町さんさ踊り保存会

門さんさ踊り保存会

大宮さんさ踊り保存会

さんさ踊り

築川高館剣舞保存会

剣舞

澤目獅子保存会

獅子踊り

藪川神楽保存会

神楽

八ツ口神楽保存会

出演団体

9団体予定
順不同

入場料 〈前売〉800円 〈当日〉1,000円 〈高校生以下〉無料

前売券
販売所

※前売券は事務局及び市内プレイガイドにて、開催日の1か月前から発売予定

盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会事務局(盛岡市教育委員会事務局歴史文化課内)、キャラホール、川徳、プラザおでっ、
いわて生協(市内6店舗(向中野、高松、仙北、山岸、松園、青山)、ペルファ牧野林(滝沢市)、コープ花巻あうる(花巻市)、ペルファ八幡平(八幡平市))

◆主催/盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会 ◆共催/盛岡市、盛岡市教育委員会 ◆助成/令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)

◆後援/(一社)岩手県文化財愛護協会、(公財)盛岡市文化振興事業団、(福)盛岡市社会福祉協議会、(公財)盛岡観光コンベンション協会、岩手日報社、NHK盛岡放送局、
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手ケーブルテレビジョン、ラヂオ・もりおか、月刊アキュート、情報紙ゆうゆう

お問い合わせ

盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会事務局(盛岡市教育委員会事務局歴史文化課内)

TEL:019-639-9067 (FAX:019-639-9047) E-mail:edu.bunka@city.morioka.iwate.jp

文化庁



出演団体の紹介・出演順

開会式・表彰式

① ハツロ神楽保存会（盛岡市上太田）

上太田に鎮座する熊野神社例大祭に奉納する山伏神楽であります。悪魔退散、七難足滅、四方鎮護の祈祷の舞であり、今回の舞人は神楽大好きな舞人達で、東京在住の大学生2名、花巻在住の主婦、地元大学生、社会人、高校生、中学生による青少年に相応しい激しい、勇壮な舞をご披露出来ます事、前頭師匠 熊谷久一郎、師匠 熊谷久洋両氏のご指導による饗宴をご鑑賞ください。



② 都南太鼓保存会（盛岡市三本柳）

昭和52年、三本柳さんさ踊り保存会結成10周年を期し、太鼓部門を結成、昭和59年には盛岡市指定無形民俗文化財に指定されました。

三本柳さんさ踊りの伝統的なリズム、打法と共感を呼ぶ太鼓、働く意欲を喚起する太鼓づくりを目標に練習しています。



③ 東中野町さんさ踊り保存会（盛岡市東中野町）

東中野町さんさ踊りは、初代庭元が明治の初め頃に近隣の見前村から伝承されたとされ、流れるような軽快な踊りが特徴です。幅広い年代が楽しく活動しており、次世代を担う子どもたちへの伝承活動には特に力をいれています。本日は代表的な演目「チイチイカッコ」「組踊り」などをご披露します。どうぞお楽しみください。



昼休憩

④ 太田さんさ踊り保存会（盛岡市中太田）

旧太田村に江戸時代の頃より踊り伝えられる芸能に加え、明治30年に三本柳地区の者からさんさを教わったことをきっかけに、盛岡市内で門付けをして歩いたのが始まりだと伝えられています。太鼓の力強い打ち音とバチを反転させるバチ捌き、踊り手の柔らかな上下動、七色の帯がゆらゆらと揺れる姿が特徴です。



⑤ 藪川神楽保存会（盛岡市藪川）

藪川神楽は、旧藪川村の社である住吉神社に奉納する踊りを望む住民の願いを受けた小倉清順氏が神主の立場から農閑期を利用して習得し、古文書によればかなりの時間を費やして持ち込んだものと思われます。



毎年8月16日に住吉神社に奉納、近年は自治会新年会での舞い初め（元々は神社での年始舞初め）、芸能祭での披露、新築祝いでの「柱固め」などで舞っています。

比較的テンポは速く、足拍子を多く踏み全体的に躍動感のある舞となっています。

⑥ 大宮さんさ踊り保存会（盛岡市本宮）

盛岡市本宮（大宮地区）に、明治の頃から南無阿弥陀仏を供養する石塔に奉納するため、「さんさ踊り」を復活させた「林崎さんさ踊り連中」を前身とし、盛岡さんさ踊り振興協議会の発足を受け、昭和51年「大宮さんさ踊り保存会」と改称。テンポの早さと躍動感ある太鼓、笛のリズムに乗った踊りを特徴としています。



県内外や海外での派遣演舞、地元林崎八幡神社・大宮神社への奉納演舞、原敬記念館の命日記念演舞等の定例公演のほか、最近では、盛岡市観光イベント事業の修学旅行体験学習、もりおか街なかさんさ踊り、他にも、つなぎ温泉主催の定期公演事業等、一年を通じ活動しています。

⑦ 築川高館剣舞保存会（盛岡市築川）

一遍上人が平泉方面で念仏踊りを広め、その後、平泉高館を攻める時に10数名が踊りの装束で城内に入り武將たちの前で踊り、感嘆させた隙に落城させたことが起こりと云われています。踊りは剣舞の性格上、激しく勇壮な踊りです。



地域の中では若手が少なく、後継者の育成が課題となっています。

本日は、城まわし（扇踊り） 太刀踊り（刀踊り） 高館（薙刀踊り）の3演目をご披露します。

⑧ 澤目獅子保存会（盛岡市手代森）

澤目獅子は、盛岡市手代森の沢目地区に正徳年以前から巻物と共に伝えられており、精霊を供養し、悪霊を追い払うものとして伝承されて参りました。



踊りは幕踊り系に属し、四十八段落に舞が区切られております。また、踊りの特徴として、腰を低く沈め力強い太鼓の響きや流れる笛の音色と共に獅子が勇壮に舞います。

後継者育成にも力を入れており、世代を担う青少年達が伝統芸能を介し地域への関心と繋がりを深める交流の場となることにより、健全育成の一助にしたいと活動しています。

⑨ 門さんさ踊り保存会（盛岡市門）

その昔「関口よりお坊さんが笠をかぶり布教のため踊り伝えた」と言い伝えられております。



明治大正時代は門外不出で、嫡男のみに伝えられました。そのため、男性ばかりの踊りで非常に勇ましく活発な踊りで、練習が始まるお盆近くになると練習を見物に近隣から多くの若者達が集まってきたと云われております。